

【2018年度 シラバス】

時間割コード		開講区分	夏学期
ナンバリングコード※	3B1108	曜日・時間	(集中)
開講科目名	対話術E (地域対話法)	単位数	2
担当教員	森栗茂一、辻寛、櫻井直子、板倉信一郎	年次	全研究科、社会人 (若干名))
講義題目	まちみちづくりファシリテーションと対話法と対話技能		
開講言語	日本語		
授業の目的	<p>複雑化多様化する今日の地域課題は、専門家のみならず、行政や住民、企業を含んだ地域社会が、地域で対話しながらつながりをつくりつつすすめる必要がある。本授業では、地域での対話の方法と、多様な対話手法について学ぶ。日本的な寄合についても学ぶ。</p> <p>技法や理論の講義のみならず、教室内で演習し、また対話のプロセス・結果を話すこと、書き留める方法についても学び、高度汎用力の基礎となる、対話による地域づくりの能力を向上させることを目的とする。</p>		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な対話法を学び、自分にふさわしい対話法を体得する。 ・多様な対話法を実践的に学び、対話において問う力、聞くなどを養う。 		
履修条件・受講条件※			
授業計画	<p>第1回：4/9 6限 オリエンテーション (豊中スチューデントコモン・セミナー室A) 4/16 6限 オリエンテーション (吹田工学P1-211)</p> <p>第2回：9/21 3限 参加のデザイン (森栗)</p> <p>第3回：9/21 4限 いろんなワークショップ、対話技法 (森栗)</p> <p>第4回：9/21 5限 演習 - ラウンドテーブル手法でふりかえり (森栗)</p> <p>第5回：9/22 3限 対話、会話、ディベート・討論(森栗)</p> <p>第6回：9/22 4限 合意形成に至るまでに考慮すべき コミュニケーションの4つの形態 (板倉)</p> <p>第7回：9/22 5限 モデレーション (辻)</p> <p>第8回：9/23 2限 忘れられた衆議と内発的発展 (森栗)</p> <p>第9回：9/23 3限 共創対話法 (森栗)</p> <p>第10回：9/23 4限 演習 - 共創的寄り合い (聞きあい) (森栗)</p> <p>第11回：9/23 5限 対話の場での話し方 (櫻井)</p> <p>第12回：9/24 2限 住民主体とコミュニティデザイン、 コミュニケーションデザイン (森栗)</p> <p>第13回：9/24 3限 カフェ的対話 (森栗)</p>		

	第 14 回：9/24 4 限 演習 - 対話法自分化のワールドカフェ（森栗）
	第 15 回：9/24 5 限 エピソードの書き方について（森栗）
授業外に おける学習	授業体験のエピソード記述（宿題） 予習：忘れられた衆議 予習：オールドニュータウンの持続を担保するくるくるバス活動の 位置づけについて 予習：実践政策学のためのエピソード記述の方法
教科書・参考資料 ※	授業中に指示する
参考文献 ※	伊藤雅春他『参加のデザイン道具箱』1993 年、世田谷まちづくりセンター 桑子俊男『社会的合意形成のプロジェクトマネジメント』2016 年、コロナ社 延藤安広『「まち育て」を育む』2001 年、東京大学出版会 山浦 晴男『地域再生入門：寄りあいワークショップの力』2015 年、筑摩書房 山納 洋『つながるカフェ：コミュニティの(場)をつくる方法』2016 年、学芸出版
成績評価	出席と参加・発言 70%、宿題 30%
キーワード ※	対話、コミュニケーションデザイン、参加のデザイン、寄り合い